

【専門科目領域/専門科目群/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
家族看護論		選択	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
東福寺 愛実	401	narumi.tofukuji	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	健康な家族の機能と構造の特徴を理解し、家族の健康生活に影響を与える文化的、社会的背景をふまえて、看護の対象としての家族を捉える方法について、家族発達理論、家族システム論などの諸理論を通して学ぶ。また、看護支援を必要とする育児や介護などを含む多様な健康問題や課題を抱える家族の援助ニーズを理解し、質の高いケアを提供する家族看護の展開方法について学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> ブレインストーミング <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	家族とは何かを考え、家族のもつ問題を解決していくための方法を学ぶとともに想像力や思考力を身につけることを目指している。グループワークでは、自身の意見や思いを表現すること、相手の考えを尊重する姿勢をもつことが望まれる。課題にしっかり取り組み、不明点は質問するなど解決しながら学びを積み上げてほしい。				
教科書	家族看護学 理論と実践 (第5版) /鈴木和子・渡辺裕子/日本看護協会出版会/2019				
参考書	・家族看護学 臨床場面と実践例から考える (改訂第3版) /山崎あけみ・原礼子/南江堂/2022 ・事例に学ぶ家族看護学 家族看護過程の展開 (第2版) /鈴木和子・渡辺裕子/廣川書店/2003				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	家族看護とは何かが述べられる。	HSU (2) NS(1)			
②	看護学における家族について述べられる。	HSU (2) NS(1)			
③	家族看護における看護者の役割と援助姿勢が述べられる。	HSU (2) NS(1)(2)(3)			
④	家族のもつ問題について実践方法が説明できる。	HSU (1)~(3) NS(1)~(4)			
⑤	家族個々の立場や思いを推測し配慮した援助方法を示すことができる。	HSU (1)~(4) NS(1)~(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	家族看護とは何かを学修する。	講義	教科書の第1章を予習し、授業終了後は復習をすること		3
2	看護学における家族について学修する。	講義	教科書の第2章を予習し、授業終了後は復習をすること		4
3	家族看護過程を学修する 事例をもとにジェノグラム(家系図)、エコマップ(家族生態図)を作成する	講義 演習	教科書の第3章を予習し、授業終了後は復習をすること		4
4	家族看護における看護者の役割と援助姿勢について学修する。	講義	教科書の第4章を予習し、授業終了後は復習をすること		3
5	乳児を持つ家族への看護について、事例をもとに学修する。	GW 発表	教科書第5章を予習しておく。 授業終了後は実践した内容を復習する。		4
6	救急医療・集中治療の場における家族への看護について事例をもとに学修する。	GW 発表	教科書第7章を予習しておく。 授業終了後は実践した内容を復習する。		4
7	高齢者介護を行っている家族への看護について事例をもとに学修する。	GW 発表	教科書第9章を予習しておく。 授業終了後は実践した内容を復習する。		4
8	終末期患者の家族への看護について事例をもとに学修する。	GW 発表	教科書第10章を予習しておく。 授業終了後は実践した内容を復習する。		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の統合と発展】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	10	100
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	定期試験期間に、筆記試験を実施する。授業で学んだ内容の理解度を評価する。				試験の採点后、メールにて講評・解説の周知を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①		授業終了後に「家族看護における看護者の役割について」授業で学んだ内容をもとに自身の考えを踏まえてレポートする。 提出方法やレポート形式は授業の中で伝える。 提出期限を守らない、レポート形式を守らない場合は減点対象とする。				内容を確認し定期試験終了後に返却する。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
成果発表	①		GW 時に行う。				発表した内容について発表時にコメントする。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①		GW への取り組み姿勢および意欲や協調性を評価する。				学習姿勢が気になる場合は注意を促す。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当する看護教員は、病院の看護師として15年の実務経験を有したものが担当する。						
実践的授業の内容	学生がイメージしやすいように事例や視聴覚教材を用いて教授する。グループワークでは様々な背景をもつ家族に対して、授業で学んだ知識を活かし、学生個々の想像力を膨らませながら援助方法を考えられるように展開する。						
そ の 他	学習状況によりスケジュールを変更することがあります。変更する場合は Teams や授業内でお知らせします。						